

大切な研究サンプルは IBBPでバックアップ保管！



無料です

保管経費、サンプル輸送費はIBBPが負担します
ご希望の場合、保管用容器もご用意します

(※サンプル返却のための送料のみご負担いただきます)

全国の研究者が利用できます

国内の教育・研究機関に所属する研究者であれば、
どなたでも利用していただけます

(※3年経過後の引き取り判断責任者には条件があります)

IBBPの特徴

- 研究途上のサンプルをバックアップ保管します。
- 他者への配布はしません。情報の開示もしません。
- 保管期間は3年間。延長も可能。
- 多様な資源に対応し、IBBPセンターで集中して保管します。
- 理由を問わず、いつでも返却します。

利用申請は《IBBP-easy》から

保管・返却等、いつでも、どこからでも電子申請システムから
お申込みいただけます



まずはユーザ登録から！

<https://ibbp-easy.jp>



申請に関するお問合せはこちらから

e-mail: ibbpdesk@nibb.ac.jp

保管できる生物遺伝資源

- 動物 (精子・卵・受精卵)
- 植物 (種子・組織)
- 培養細胞 (動物・植物)
- 微生物
- 遺伝子 (ライブラリ・核酸)
- タンパク質

種子は50mLのチューブに入る量、ライブラリは96/384プレート、
その他のサンプルは1.5～2mLのクライオチューブ又は133mmの
ストローに入った状態で保管します。

※以下の物は保管できません

- ・ 人に対する病原性を有する物 (BSL2以上)
- ・ 法律や省令によって取り扱いが制限されている植物病原菌類
- ・ ヒト組織

バックアップ保管施設

IBBPセンター
(愛知県岡崎市 基礎生物学研究所)



液体窒素による保存システム



種子保管室

- ・ 震度7クラスにも耐えられる耐震構造
- ・ 2段階の非常用電源の設置
- ・ 液体窒素自動供給システム
- ・ 生物遺伝資源管理データベースシステム (IBBP-easy)

IBBP推進事業

研究者からサンプルを預かり、保管しています

Cryopreservation Conference

共同利用研究者や長期保存技術の開発者、低温生物学分野等の研究者が集う研究集会を開催しています

共同利用研究

多種多様な生物遺伝資源のバックアップ保存を可能にする新規超低温保存技術の開発を推進しています

技術講習会

共同研究によって開発された技術を研究者コミュニティに広げるための技術講習会を開催しています

